

永井医院ニュース

LIFE 77



ライフ

2023年11月号

No. 77

発行/最上郡最上町向町536-9
内科:循環器科
医療法人 永井医院
TEL.0233-46-1511
<https://nagacl.com>



特集：25周年



とても素敵な絵を描いていただいたので、Tシャツにしました

永井医院は11月で25周年を迎えました。25年続けてこられたのは当院を利用してくださる皆様のおかげであり、たいへん感謝しております。1998年に永井医院を開業したとき、私はまだ37歳でした。生まれ育った最上町に恩返しをしたいと考え、なるべく長く地域医療に貢献したいと思っていましたので、まわりから「まだ早いんじゃないか」と言われながら37歳で開業に踏み切りました。若くてパワーもあったので、日常の診療のほかに、週1回県立新庄病院でカテーテル検査を行ったり、学会や研究会で発表したり、英語の論文まで書いていました。現在は60歳を超え、パワーはだいぶ落ちてしまいましたが、あと10年くらいは頑張りたいと思っています。次男の貴之が医師になって8年目ですが、県立中央病院、山形大学病院を経て、現在は新しくなった県立新庄病院に勤務しています。将来は医院を継いでくれると言っているのです、私としてはとても心強いです。また次女的美紗子も10月から救急科の医師として県立新庄病院に勤務しています。時々私が不在の時の代診もしてくれるので、すごく助かっています。



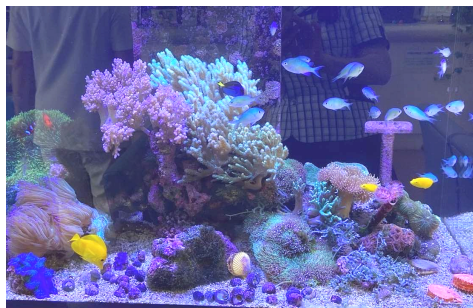
開院時のメンバーは私も入れて7人でしたが、今は21人になりました。「医療はサービス業である。患者さん中心の医療を心がける。」「常に新しいことを取り入れ、質の高い医療を提供する。」という方針のもと、みんな良い医療を提供できるように頑張ってくれています。昨年参加した学会や研究会は職員全体で85にもなり、新しい知識や技術を取り入れながら医療を行っています。私も含めた21人のうち、勤続20年以上が11人、10年以上が8人と、長く勤めてくれている職員が多く、同じ方向を向いて一緒に頑張ってきました。人生の半分以上を永井医院に勤務してくれている職員もあり、皆家族のような存在です。職員にも深く感謝したいと思います。

今年の春、仙台に画家の杉田陽平さんの個展を見に行きました。明るくて躍動的で、素晴らしい絵が展示されていました。杉田さんは気さくな方で、いろいろお話しさせていただきました。初対面であるにもかかわらず、今年開院25周年であることを伝え、記念の絵を描いていただけないかとお願いしたところ、快諾していただきました。その時はまだ半信半疑だったのですが、8月にできあがった絵を見せていただいて、さらにその絵を待合室に飾るためにわざわざ医院まで来ていただけることになりました。10月4日に来院していただいた時の様子は6~7ページにあります。帰り際に壁にハチドリの絵を直接描いていただきました。大きな花の蜜を吸うために、ハチドリが舞っているような、素敵な絵でしょう。感激でした。

これからも良い医療を提供できるように職員一同頑張っていきますので、これからもどうぞよろしくお願いたします。

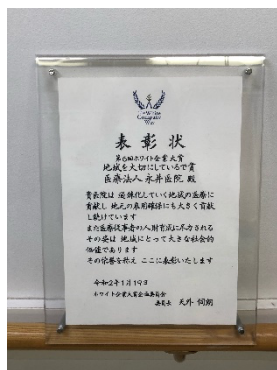
2019 年

- ・熱帯魚の水槽設置



2020 年

- ・第 6 回
ホワイト企業大賞
特別賞受賞
(地域を大切にして
いるで賞)



- ・新型コロナウイルス感染症流行
- ・県立中央病院にガウンと N95 マスクを寄贈
- ・コロナウイルス感染症診療・検査指定医療機関に認定
- ・PCR 検査開始
- ・マスク不足のため、職員が布のマスクを手作りして対応

2021 年

- ・コロナワクチンの個別接種開始
- ・オンライン資格確認システム導入
- ・東北大学基金特別功績賞受賞
(バイトがなくなって就学困難な学生の生活支援に 500 万円寄付)

2022 年

- ・新型コロナウイルス抗原検査開始
- ・社会福祉協議会に 200 万円寄付



ひとり親世帯を対象に食料品などを届ける“はっぴーバスケット”に活用していただきました。

- ・新庄地区陸上競技協会より感謝状授与
- ・最上町社会福祉協議会より感謝状授与

2023 年

- ・発熱外来専用 WEB 問診導入
- ・自動精算機導入



11 月 開院 25 周年

開院 20 年から 25 年までの間の約 3 年間は新型コロナウイルス感染症に翻弄されました。しかし、当院は院内感染もなく、一度もクラスターにならず診療を行うことができました。皆様には医院の感染対策にご協力いただき、誠に感謝申し上げます。

職員より一言（入職順）

【永井 和江】 1998年10月入職

開院から四半世紀が過ぎ、これからも地域の方々の健やかな毎日を願って、研鑽を重ねます。

【大場 かおり】 1998年10月入職

最上町内外の患者さんと医療を通じて、たくさんの出会いがありました。医療に携わる側ではありますが、患者さんに寄り添った対応をさせていただいた後には、元気づけられ私の励みになります。今後も皆様に寄り添い、あたたかい医療を提供できるよう心掛けてまいります。

【坂井 一恵】 1999年4月入職

こんな事できるのかと不安に思った事もたくさんありましたが、様々なことが実行でき地域医療に風穴をあけたような気がします。振り返るといろいろあったなあと思いますが、あっという間の25年でした。

【間 絵理】 1999年7月入職

当院に入職して24年が経過しました。何年たっても患者さんが安心して受診できるような看護を提供できたと思います。これからも笑顔を忘れずに精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。

【西塚 衛一】 1999年8月入職

送迎一筋25年、地球何周分走ったでしょうか。その間、患者さんから頂いた“ありがとう”の感謝の言葉を胸に秘めながら毎日運転してきました。今後も安全運転を心がけハンドルを握っていきたいと思います。

【菅 輝美】 2000年3月入職

早いもので24年目になります。今後も地域医療に貢献できるよう精進していきます。四十肩にはなっていないので、五十肩にならないようにがんばります。

【大場 利恵】 2000年9月入職

永井医院で働いていることを誇りに思っています。「日々成長」を心掛け頑張ります。

【竹澤 優子】 2001年3月入職

最上町に嫁いで24年。永井医院で働き22年。素敵な仲間と楽しく働け充実した毎日です。これからも患者さんに安心して来院してもらえるように、日々頑張っていきたいと思います。

【岸 ひろみ】 2002年3月入職

入職してからいろんなことをたくさん学ばせてもらい、優しく頼もしい職員のみなさんに助けてもらいながら、あっという間に20年が過ぎました。これからも患者さんのために、永井医院のために自分のできることを精一杯頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【菅 明子】 2002年4月入職

ほとんどの職員と10年以上の年月を共に過ごし、“阿吽の呼吸”で業務が行えています。これからも呼吸機能を維持できるようにがんばります!!

【石山 友美】2004年4月入職

入職してから19年も経ちますが、私の周りにはいつも笑顔があります。私もみんなを笑顔にできるように精進していきたいです。

【中鉢 由香】2005年1月入職

20周年の時から医療の技術はさらに進歩し、この5年で当院の検査機器は新しい機能のついたものに更新されました。新しい技術においていかれないようにこれからも日々努力していきます。

【森 めぐみ】2005年3月入職

永井先生と優しい職員に囲まれ、25周年を迎えることができうれしく思います。今後も地域に根ざした医療が提供できるように職員みんなで元気にがんばります。

【叶内 さゆり】2005年3月入職

あっという間の18年。先生、スタッフの皆さんに支えられここまでやってこれました。これからも永井医院の一員として、地域の皆さんに愛される医院を目指しがんばっていききたいです。

【菅 志津子】2005年7月入職

私が入職してから18年になります。初めの頃はこんなに長く仕事ができるなんて考えていませんでした。いろいろ失敗もありましたが、みんなに支えられ続けてこれました。先生スタッフのみなさんこれからもよろしくお願いします。

【橋本 さち子】2007年2月入職

「永井医院の人はみんな優しい」、「ここに来ると元気が出る」と患者さんからかけていただく言葉に元気をもらっています。これからも安心感を与えられる医療事務を目指して頑張ります!!

【高橋 未来】2012年9月入職

優しく、楽しい職員に囲まれ、あっという間に10年が経ちました。人見知りな私なので、やっと慣れてきたような気がします。このようなお仕事ができることをとても感謝しています。これからも健康第一で働きたいです。

【富樫 由美】2013年1月入職

入職して10年が経ちました。10年間いろいろなことを学び、自分なりに成長できたかと思えます。これからも頑張っていくのでよろしくお願いします。

【佐々木 寿美子】2015年11月入職

入職してあっという間に時間が経ちました。みんなに優しく、楽しいことや辛いことも共有し合うことで成長することができました。今後も頑張ります。

【菅 淑恵】2023年9月入職

入職して2か月が経ち、まだまだわからないことが多く、職員の皆様に教えていただきながら日々勉強しています。初心の気持ちを忘れず、常に向上心を持ちながら精一杯頑張りますのでこれからもよろしくお願いいたします。

現在、職員21名中、勤続20年以上の職員が11名、10年以上が8名になりました。長く勤務できることに感謝し、今後も職員一同一生懸命がんばります。地域の皆様、これからもよろしくお願いいたします。



開院 25 周年を記念して

事務長 竹澤優子

この度、開院 25 周年を記念して、画家の杉田陽平さんから絵画を制作していただきました。杉田陽平さんのご紹介と絵画への思いを綴った言葉をご紹介します。

画家：杉田 陽平さん
1983 年 10 月 28 日生
三重県津市出身
現代美術家
武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業



【絵画について（制作者コメント）】

題名 「巡り合う色彩の中で」 杉田 陽平

絵で人を元気にできるか？色と形とタッチで何を感じさせるか？絵を描くことは。そんな、答えなき問い連続です。壁に当たった時、人々との出会いが僕に勇気を与えてくれています。この作品は、感謝の花がテーマです。できるだけ明るく色彩豊かに元気いっぱい画面いっぱいに描いて、キャンバスの外にも花が続いているように描いてみました。見る人それぞれが、画面の外側に枯れない花の続きをイメージしていただけたら幸いです。

杉田さんは人気の画家さんで、大活躍されています。お忙しい中ですが、お時間を作っていただき、10月4日に訪問してくださいました。新幹線で新庄駅に降りるのを、大石田駅で降りてしまうというお茶目なハプニングがありました。「杉ちゃん」と愛称があるほど、超人気の画家さんなので、医院に到着した時は、職員から大歓声が上がりましたが、照れながら「ただのおじさんですよ～」なんてお話ししたり、とても気さくな方でした。

とても素敵な作品なので、院長の発案で職員用に絵画をプリントしたTシャツを作成しました。色とりどりのとても素敵なTシャツができました。当日は、みんなを着用しました。



杉田さんもTシャツを着てくれました！

杉田さんにアドバイスをいただきながら、壁に絵画を飾りました。医院の白い壁にとても似合い、雰囲気がからりと変わってとても素敵な待合室になりました。来院した時にぜひご覧下さい。

来院してくださったお礼に、職員が当日まで一生懸命練習したハンドベル演奏を行いました。突然のハンドベル演奏に杉田さんもびっくりしていましたが、練習した成果が出て、大成功でした。

その後、杉田さんのご指導のもと、一緒に「アートワーク」を楽しみました。丸いアクリルプレートに5色から10色の好きな絵の具を置き、もう一枚で挟み、指で押し広げると素敵なアート作品になるというものです。

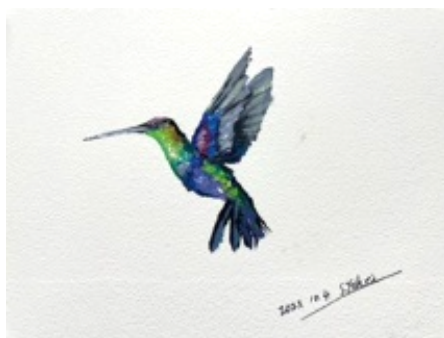


杉田さんの作品です。完成後数日乾燥するとこのように変化しました。



このような体験ができることはあまりないので、職員もとても楽しそうでした。みんな素敵な作品ができたので、最後にそれぞれの作品を手に、記念撮影です！

イベント終了後に絵画のとなりに、白い壁に直接、「ハチドリ」を描いてくださいました。今にもお花によっていきそうな素敵な絵です。



描いている過程も拝見できて貴重な時間でした。



診療のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	●	●	●	●
午後	●	休診	休診	●	●	休診

● 午前の診療は 7:30 から 12:00 です。

● 月木の午後は 15:00 から 18:00 です。

● 金曜の午後は 16:00 から 19:00 です。

- ・ 仕事で診療時間内に受診できない方のために、月に1回金曜日の19:00 から 20:00 に予約外来を行っています。ご希望の方はお問い合わせください。
- ・ 土曜日は山形大学の今田先生（腎臓・膠原病専門）と渡邊先生（循環器専門）の外来があります。
- ・ 第3水曜日の午後は大腸内視鏡検査を行っています。一般の外来はありません。

編集後記

25年。長いと感じながらあっという間な25年でした。長く勤めていると、受診する子供さんたちの成長にびっくりします。予防接種に泣いていた子供さんが、少したつと中学生になり、職員みんなで「〇〇ちゃん、〇〇くん大きくなったねー」なんて、まるで親戚のおばちゃんのような思いで見えています。

自分たちの成長(老い)も実感しながら・・・。

年齢よりも若々しくなれるように、元気に笑顔で頑張ります。これからも末永くよろしくお願いします。

竹澤優子